

## 三菱UFJ 純金ファンド

追加型投信／国内／その他資産（商品）

愛称：ファインゴールド

第8期末（2019年1月21日）	
基準価額	11,620円
純資産総額	17,069百万円
騰落率 (上昇率・下落率)	-5.5%
分配金合計	0円

第8期（決算日：2019年1月21日）

作成対象期間  
(2018年1月23日～2019年1月21日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざして運用を行ってまいります。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法＞

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

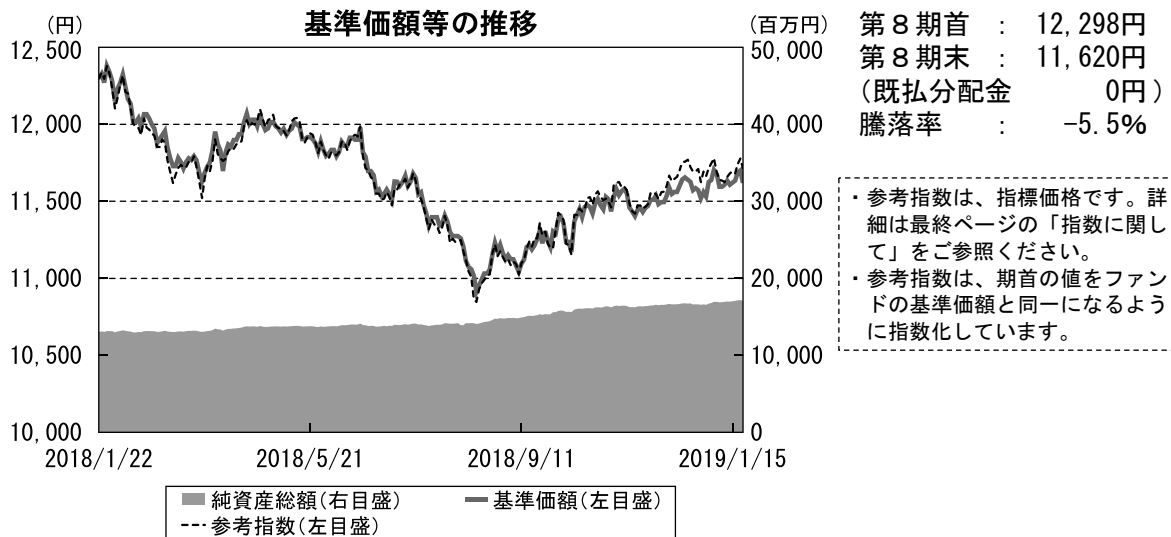
## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

(第8期：2018/1/23～2019/1/21)

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.5%の下落となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

## 下落要因

金価格が下落したことに加え、円高・米ドル安となったことなどが基準価額の下落要因となりました。

## 1 万口当たりの費用明細

(2018年1月23日～2019年1月21日)

**i** 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 63	% 0.539	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
( 投信会社 )	(28)	(0.243)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販売会社 )	(28)	(0.243)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受託会社 )	( 6 )	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷ 期中の平均受益権口数
( 監査費用 )	( 0 )	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( その他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	63	0.542	
期中の平均基準価額は、11,632円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

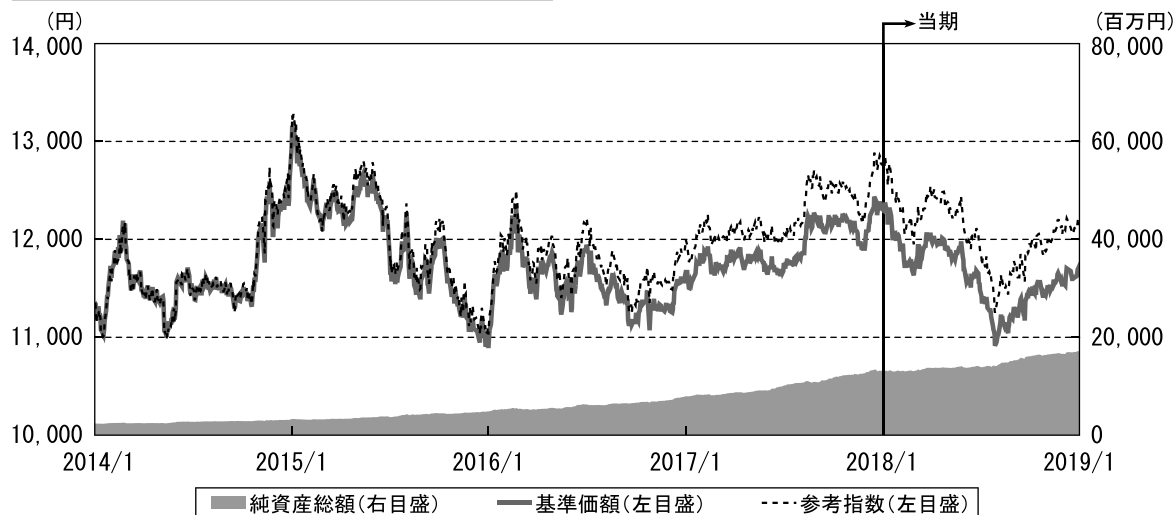
## 【費用開示の仕組み】

下記  部分の費用が費用明細に含まれています。



## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年1月20日～2019年1月21日)



・参考指数は、2014年1月20日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

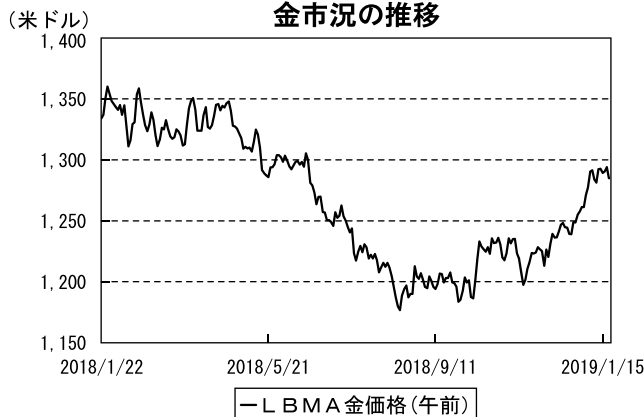
	2014/1/20 期初	2015/1/20 決算日	2016/1/20 決算日	2017/1/20 決算日	2018/1/22 決算日	2019/1/21 決算日
基準価額 (円)	11,324	12,953	10,888	11,665	12,298	11,620
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率	—	14.4%	-15.9%	7.1%	5.4%	-5.5%
参考指数騰落率	—	15.5%	-15.7%	8.8%	6.3%	-4.8%
純資産総額 (百万円)	2,374	3,255	4,809	7,929	13,044	17,069

参考指数は、指標価格です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## 投資環境について

(第8期：2018/1/23～2019/1/21)

## 金市況の推移



## ◎金市況

- ・期首から2018年4月までは一進一退の展開となり、金価格は小幅な値動きが続きました。
- ・5月以降は米国株式市況が堅調に推移する中、安全資産とされる金価格は売られやすい状況となりました。また、為替市況が米ドル高基調となったことから、米ドルと逆相関が生じやすいとされる金価格は下落基調となりました。
- ・10月から期末にかけては、米中貿易摩擦が世界経済にマイナス影響を及ぼしかねないという懸念が強まったことなどから、リスクオフの動きが加速し、安全資産とされる金を買う動きが強まりました。ただし、期を通じてみると金価格は下落しました。

為替市況の推移  
(期首を100として指数化)

## ◎為替市況

- ・期首から2018年3月までは円高・米ドル安基調となりましたが、その後は米国長期金利の上昇などを背景に円安・米ドル高基調へと転じました。
- ・10月以降、年末にかけては米国長期金利が急低下、米国株式市況も荒い値動きを伴いながら下落基調を強めると円高・米ドル安へと反転し、2019年年明け以降、期末までは米ドルを買い戻す動きとなったものの、期を通じてみると円高・米ドル安となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

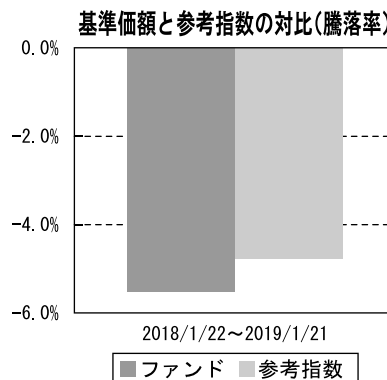
### ◎参考指数との比較

- ・金価格が下落したことに加え、円高・米ドル安も重なり、円ベースの金価格は下落しました。その結果、参考指数は期首と比べて4.8%の下落となり、当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」についても、5.0%下落しました。
- ・当ファンドと参考指数との乖離は $\Delta 0.7\%$ 程度となりました。このうち、 $\Delta 0.2\%$ 程度は、参考指数と当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」の値動きが必ずしも一致しないことに起因するものです。また、 $\Delta 0.5\%$ 程度は、当ファンドにおいて一定のキャッシュを保有していることや信託報酬、取引コスト等によるものです。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は指標価格です。



## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第8期
	2018年1月23日～2019年1月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,008

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

純金上場信託「金の果実」を高位に組み入れることにより、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。

## お知らせ

**i** 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

### ◎約款変更

- ・該当事項はありません。

### ◎その他

- ・本資料内における旧シティ債券インデックスは、ブランド変更に伴い、FTSE債券インデックスの名称に変更しています。
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\* 本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

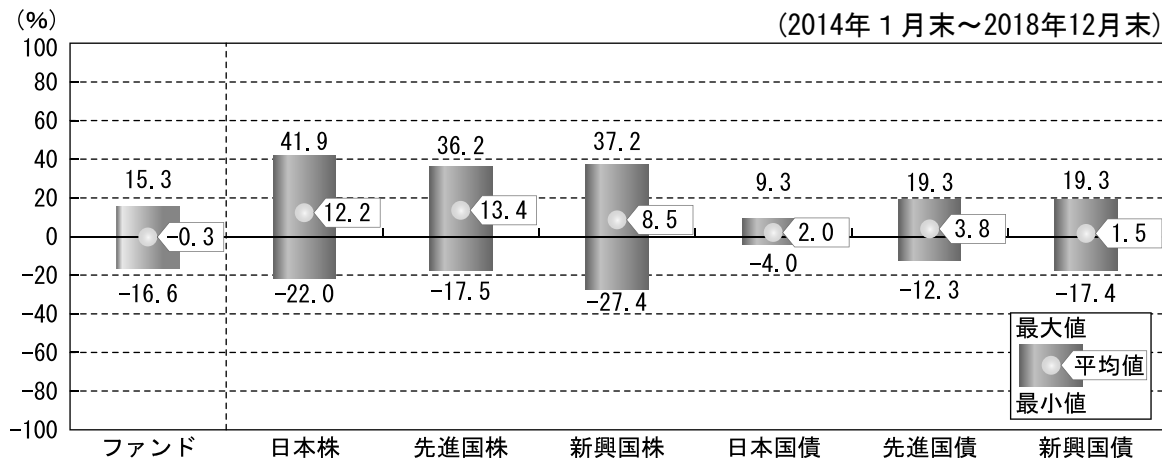


## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／その他資産（商品）
信託期間	無期限（2011年2月7日設定）
運用方針	主として純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。純金上場信託（現物国内保管型）受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。
主要投資対象	純金上場信託（現物国内保管型）受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**i** 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。



○上記は、2014年1月から2018年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### ○各資産クラスの指数

- 日本株：TOPIX（配当込み）
- 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
- 日本国債：NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）
- 新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 当該投資信託のデータ

### 当該投資信託の組入資産の内容

(2019年1月21日現在)

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率
1	純金上場信託(現物国内保管型)	ETF	日本	—	100.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

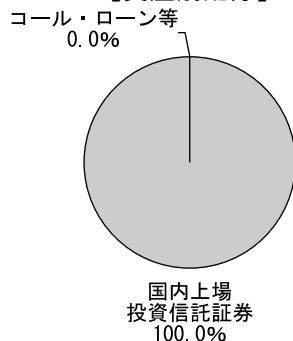
#### 純資産等

項目	第8期末 2019年1月21日
純資産総額	17,069,084,122円
受益権口数	14,689,878,686口
1万口当たり基準価額	11,620円

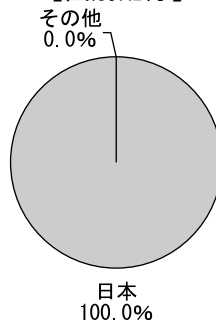
- ・当期中において  
追加設定元本は 7,049,051,787円  
同解約元本は 2,965,699,022円 です。

#### 種別構成等

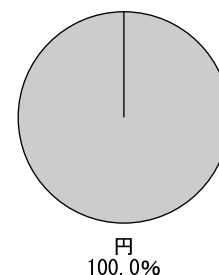
##### 【資産別配分】



##### 【国別配分】



##### 【通貨別配分】



- ・比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

## 指数に関して

### ○ファンドの参考指数である『指標価格』について

当ファンドの参考指数（指標価格）は、東京商品取引所における金1グラム当たりの先物価格をもとに現在価値として三菱UFJ信託銀行が算出した理論価格です。参考指数（指標価格）は、日本における金の店頭小売・買取価格や海外で公表される取引価格とは異なります。

### ○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

#### NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

#### FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMオルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMオルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。